



## 2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月10日

上場会社名 株式会社 近鉄百貨店 上場取引所 東  
 コード番号 8244 URL http://www.d-kintetsu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 秋田 拓士  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 業務本部長 (氏名) 泉川 邦充 TEL 06-6655-7030  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第1四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	70,573	△0.1	1,153	△10.6	1,077	△8.4	915	△21.6
2019年2月期第1四半期	70,614	5.5	1,290	25.5	1,175	27.5	1,167	23.3

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 731百万円(△23.7%) 2019年2月期第1四半期 958百万円(19.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	22.68	—
2019年2月期第1四半期	28.92	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	130,311	36,693	28.2
2019年2月期	129,256	36,769	28.4

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 36,693百万円 2019年2月期 36,769百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年2月期	—	—	—	—	—
2020年2月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	138,700	△0.6	2,200	△11.5	2,000	△9.2	1,700	△11.0	42.10
通期	279,300	△1.2	5,200	△11.6	4,700	△14.2	3,800	△21.7	94.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期1Q	40,437,940株	2019年2月期	40,437,940株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	60,590株	2019年2月期	60,585株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期1Q	40,377,352株	2019年2月期1Q	40,377,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(参考)

2020年2月期の個別業績予想 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	127,100	△1.3	1,900	△12.4	1,700	△10.8	1,500	△8.8	37.15
通期	256,500	△1.9	4,500	△12.2	3,900	△13.7	3,300	△23.1	81.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8
決算補足資料 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年3月1日～2019年5月31日)のわが国経済は、輸出や生産に一部弱さが見られるものの、雇用、所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調をたどりました。

百貨店業界におきましては、通商問題の動向や中国経済の先行きの不透明さなどの不安材料がありましたものの、懸念されていた訪日外国人の買物需要が好調を維持したこともあり、売上高は総じて堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、「中期経営計画2018年度～2020年度」に基づき、「共創型マルチディベロッパーへの改革」を経営コンセプトとする諸施策を着実に実行し、各事業にわたり収益力の向上に懸命に努力を傾けました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①百貨店業

百貨店業におきましては、中期経営計画に掲げる「あべの・天王寺エリアの魅力最大化」に向け、あべのハルカス近鉄本店2階化粧品・婦人洋品のフロアをはじめとする大規模改装に着手するとともに、隣接するHoop各階における改装を実施しました。

次に、「地域共創型百貨店」の確立に向け地域深耕の取組みを一層推し進め、奈良店では、地域産品を発掘・育成・発信する新コーナー「大和路 暮らしの間」を設置するとともに、奈良の上質なくらしを提案する品揃えを強化する改装を、橿原店では、「大和路ショップ」を新設するなど食料品売場を中心とする改装をそれぞれ実施するほか、東大阪店におきましても11年ぶりとなる改装を実施し、新ショップの新設や売場環境の改善を行うなど郊外店の構造改革にも引き続き注力いたしました。

しかしながら、各店舗において百貨店売場とテナント運営による専門店区画の融合を進めた影響により売上高は64,273百万円(前年同期比0.9%減)にとどまりました。また、営業利益につきましては、基幹システムの更新に伴う減価償却費の負担が増加したため、928百万円(同9.2%減)となりました。

#### ②卸・小売業

卸・小売業におきましては、株式会社ジャパンフーズクリエイトの鮮魚販売が好調に推移した一方で、株式会社シュテルン近鉄が輸入自動車販売の競争激化を受け減収となったため、売上高は3,479百万円(前年同期比7.2%減)、営業利益は17百万円(同42.4%減)となりました。

#### ③内装業

内装業におきましては、株式会社近創で大口工事の受注により、売上高は2,032百万円(前年同期比78.3%増)、営業利益は256百万円(同3.4%増)となりました。

#### ④その他事業

その他事業におきましては、売上高は788百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益は62百万円(同72.6%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は70,573百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は1,153百万円(同10.6%減)、経常利益は1,077百万円(同8.4%減)となりました。これに固定資産除却損等206百万円を特別損失に計上し、法人税等を加減した親会社株主に帰属する四半期純利益は915百万円(同21.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1,055百万円増加し130,311百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1,131百万円増加し93,618百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べ76百万円減少し36,693百万円となりました。この結果、自己資本比率は28.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2019年4月10日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2019年7月10日)に公表いたしました「業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,530	3,004
受取手形及び売掛金	11,240	12,379
商品及び製品	7,600	7,947
仕掛品	740	380
原材料及び貯蔵品	30	26
その他	4,373	4,864
貸倒引当金	△26	△32
流動資産合計	27,490	28,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	46,038	45,833
土地	27,068	27,067
その他(純額)	3,173	3,400
有形固定資産合計	76,280	76,302
無形固定資産	3,165	3,038
投資その他の資産		
投資有価証券	3,657	3,441
敷金及び保証金	10,557	10,547
退職給付に係る資産	3,061	3,082
その他	5,090	5,372
貸倒引当金	△46	△44
投資その他の資産合計	22,320	22,399
固定資産合計	101,766	101,740
資産合計	129,256	130,311

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,696	23,974
短期借入金	11,774	10,107
未払法人税等	523	294
商品券	8,805	8,721
預り金	27,982	28,590
賞与引当金	384	740
商品券等引換損失引当金	6,754	6,692
その他	5,862	5,720
流動負債合計	82,783	84,841
固定負債		
長期借入金	4,938	3,745
退職給付に係る負債	483	487
資産除去債務	306	308
その他	3,975	4,235
固定負債合計	9,703	8,776
負債合計	92,487	93,618
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	8,990	8,990
利益剰余金	11,622	11,730
自己株式	△85	△85
株主資本合計	35,527	35,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	774	585
退職給付に係る調整累計額	467	471
その他の包括利益累計額合計	1,241	1,057
純資産合計	36,769	36,693
負債純資産合計	129,256	130,311



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	70,614	70,573
売上原価	54,169	54,346
売上総利益	16,444	16,226
販売費及び一般管理費	15,154	15,073
営業利益	1,290	1,153
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	6
未請求債務整理益	239	233
その他	32	116
営業外収益合計	280	357
営業外費用		
支払利息	31	25
商品券等引換損失引当金繰入額	250	245
固定資産撤去費用	39	94
その他	73	69
営業外費用合計	395	433
経常利益	1,175	1,077
特別損失		
固定資産除却損等	116	206
特別損失合計	116	206
税金等調整前四半期純利益	1,059	870
法人税、住民税及び事業税	137	234
法人税等調整額	△245	△279
法人税等合計	△107	△45
四半期純利益	1,167	915
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,167	915

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	1,167	915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△209	△188
退職給付に係る調整額	0	4
その他の包括利益合計	△209	△184
四半期包括利益	958	731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	958	731

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店業	卸・小売業	内装業	その他事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	64,273	3,479	2,032	788	70,573	—	70,573
セグメント間の 内部売上高又は振替高	18	802	1,009	781	2,612	△2,612	—
計	64,292	4,282	3,041	1,570	73,185	△2,612	70,573
セグメント利益	928	17	256	62	1,265	△112	1,153

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 決算補足資料

### 個別決算関係

#### 1. 個別決算の概要

(単位：百万円、%)

	当第1四半期累計期間	
	金額	前年同期比
売上高	64,387	△1.0
営業利益	1,021	△8.1
経常利益	971	△10.3
四半期純利益	871	△19.6

#### 2. 店別売上高

(単位：百万円、%)

	当第1四半期累計期間	
	金額	前年同期比
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	31,726	0.4
上本町店	5,997	2.2
東大阪店	757	1.0
奈良店	5,918	△2.2
橿原店	3,558	△7.5
生駒店	1,720	△8.6
和歌山店	5,145	0.1
草津店	2,522	△7.9
四日市店	4,973	△0.5
名古屋店 (近鉄パッセ)	2,066	△3.9
合計	64,387	△1.0

(注) あべのハルカス近鉄本店単独 30,813 0.6

#### 3. 商品別売上高

(単位：百万円、%)

		当第1四半期累計期間	
		金額	前年同期比
衣料品	紳士服・洋品	2,122	△3.9
	婦人服・洋品	10,314	△5.2
	子供服	1,279	3.2
	その他衣料品	2,235	△12.2
	計	15,952	△5.5
身回品		7,162	2.0
家庭用品	家具	489	△18.2
	家庭電器	0	△95.8
	その他家庭用品	1,274	△2.1
	計	1,764	△7.6
食料品		19,025	1.2
食堂喫茶		1,052	△10.6
雑貨	雑貨	6,481	△1.4
	化粧品	9,379	2.1
	計	15,860	0.6
サービス		416	0.9
その他		3,153	2.7
合計		64,387	△1.0